

1. 取扱説明書

(FFタイプ除く)

取扱説明書

もくじ

●安全上のご注意	3
●機能と特長	6
●各部のなまえとはたらき	7
●はじめてお使いのときは、まず	11
●使用方法	11
●冬期の凍結による破損防止について	30
●点検・お手入れのしかた	33
●故障！とお考えになる前に	34
●長期間使用しない場合は	37
●仕様	38
●アフターサービスについて	38

このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
 ＊ご使用になる前に、この取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
 ＊別途の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。

可搬型 家庭用

給湯暖房用熱源機		品名	型式名
12号タイプ	HT	HT-246RSA-AQ, AW, Q	RUPH-1615AW(SAW)
		HT-246RSA-SQ, SW, Q	RUPH-1615AWX(SAWX)
		44-445	
		HT-246RSA-AQ, AW, Q	RUPH-1615AA(SAA)
	HT	HT-246RSA-SQ, SW, Q	RUPH-1615AAAX(SAAAX)
		44-447	
		HT-246RSA-AQ, AW, Q	RUPH-1615AT(SAT)
		HT-246RSA-SQ, SW, Q	RUPH-1615ATX(SATX)
		44-446	
	HT	HT-246RSA-AQ, AW, Q	RUPH-1615AB(SAB)
		HT-246RSA-SQ, SW, Q	RUPH-1615ABX(SABX)
		44-448	
20号タイプ	HT	HT-306RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2005AW(SAW)
		HT-306RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2005AWX(SAWX)
		HT-306RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2005AA(SAA)
		HT-306RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2005AAAX(SAAAX)
	HT	HT-306RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2005AT(SAT)
		HT-306RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2005ATX(SATX)
		HT-306RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2005AB(SAB)
		HT-306RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2005ABX(SABX)
		44-449	
	HT	HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AW(SAW)
		HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405AWX(SAWX)
		44-450	
		HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AA(SAA)
24号タイプ	HT	HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AW(SAW)
		HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405AWX(SAWX)
		44-451	
		HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AA(SAA)
	HT	HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405AAAX(SAAAX)
		44-452	
		HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AT(SAT)
		HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405ATX(SATX)
		44-453	
	HT	HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AB(SAB)
		HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405ABX(SABX)
		44-454	
		HT-366RSA-AQ, AW, Q	RUPH-2405AU(SAU)
		HT-366RSA-SQ, SW, Q	RUPH-2405AUX(SAUX)
		44-455	

金銭の上の生活

この機器を安全に使用するために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表 示	意 味
△危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

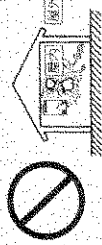
傷害 害 治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど(高温・低温)・膨満などをさします。
 物的損害 家屋・家財および資産、ベットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。



△危險

禁止設置內壁



この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

機器の異常に気付いたら

①給湯栓をすべて閉める。



必ず行つ



②ガス栓を閉める。

③使用中に異常な燃焼、異臭（ガスのにおい）、異常音を感じたときはあわてず、運転を停止してガスを止め、よりのガス会社にご連絡ください。

地震や火災発生時もあわてず、運転を停止してください。



閉める

ガス栓

警告

工事は資格必要



必ず行う
!
この機器の設置・移動および付
帯工事には専門の資格・技術が
必要です。工事は必ずお買い上
げの販売店またはその他のガス
会社に依頼してください。

機器の銘板を確認



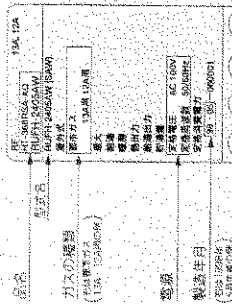
必ず行ふ



※この機器の銘板はフロン
トカバーのここに張
ってあります。

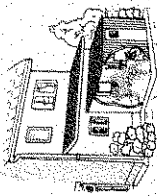
使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用するると不完全燃焼や爆発発火の原因となります。

※下図は銘板の一例です。



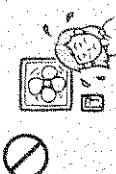
この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

禁止設置因



この機器は屋外用ですので、増設などによつて屋内状態にしないでください。また、波版などによつて閉いをすることもおやめください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁



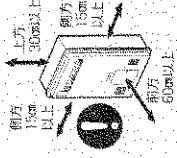
ガスのにおいのする
場所での電話の使用
禁止

ガス漏れに気付いたときは、ガス会社の係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

安全上のご注意

△注意

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは密に右図の隙間距離を確保すること。

- 排気口・排気トップが濡れた物などでおおわれにくいようにすること。
- 機器周辺に紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。
- 火をつけたまま就寝や外出はしないこと。

- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。
- 火災の原因になります。

- 不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。

用途について

- 給湯・シャワー・風呂のおいだし・暖房以外の用途には使用しないでください。恐ろぬ事故や故障の原因となります。
- 機器内に長時間たまっていった水は、数回または調理に用いる濯用水としてお使いください。

やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬強いお湯が出る場合があります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体にかけないでください。
- シャワー（上がり湯）を使う場合、最初にお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、湯温を十分に確認してから行ってください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりする場合があります。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

- 使用中や使用直後は排気口・排気トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

- おいだし中やおいだし後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があり、やけどのおそれがあります。入浴時には十分にかき混ぜてください。

△注意

機器の破損防止のため必ず行うこと

- 雷による一時的な電圧変動で電子部品が破損することがあります。雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 冬期に水道水が凍結するおそれがある日は、下記いずれかの方法で凍結予防を行ってください。
 (30〜32ページ参照)
- 1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法
- 2 給湯栓から水を流す方法
- 3 水抜きによる方法

感電防止のために

- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

低温やけど防止のために

- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起す心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
- ① 乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かさない方
- ② 疲労の激しいときや深湯をしたとき
- ③ 皮膚の弱い方

床暖房の破損防止のために

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、腐敗の原因となります。



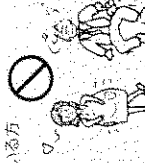
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを置いたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



ゆらぎのシャワー使用上の注意

- 次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。

- ① 妊娠中の方
- ② 脱衣から入浴を禁じられている方
- ③ お酒を飲んだあとや深湯をされた方
- ④ 高血圧の方
- ⑤ 体力の弱っている方
- ⑥ 体調の悪い方



安全上のご注意

機器の設置状態についての確認

- ①機器は傾いて設置されていませんか？
必ず、暖房機や換気扇の吸出し口や吸い込み口付近は傾いておらず、正常な傾斜の取り付けになることが重要です。
 - ②棚の下など落下物の危険はありませんか？
 - ③メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
 - ④換気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありますか？不完全燃焼の原因になります。
- 以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知ください。

この機器は太陽熱温水器と接続できません。

別売部品はこの機器用のもの以外では使用しないでください。事故や故障の原因となります。

リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようにご注意ください。誤りぬ事故や故障の原因となります。

浴室リモコンは防水タイプですが、故障に水をかけないでください。また、台所および増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようご注意ください。故障の原因となります。

リモコンのお手入れにベンジンや油類系の溶剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。

お願い

機器やリモコンの分解は禁止

サービススマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因となります。

電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っ張ってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。

入浴剤などについて

硫黄・硫・アルカリを多く含む入浴剤や炭酸系、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴時のご注意文を十分参照ください。

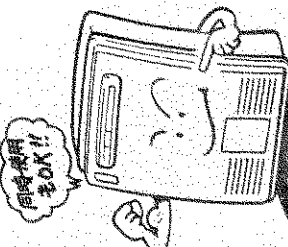
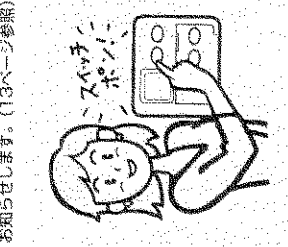
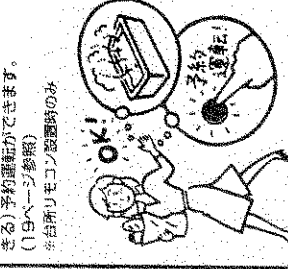
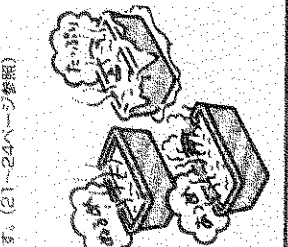
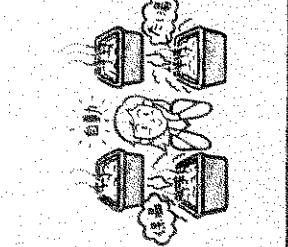
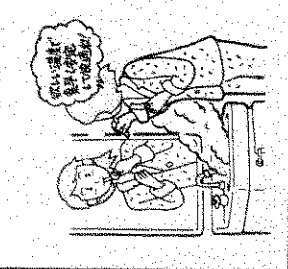
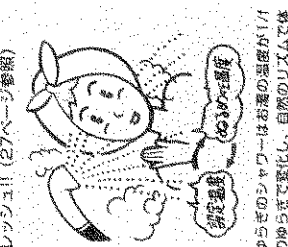
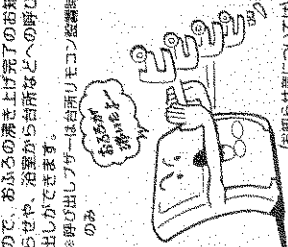
泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりお風呂の湯かきできません。

塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤などは塩素・酸性の成分が生成管などに付着した場合は十分に水で洗い流してください。誤りぬ事故や故障の原因となります。

給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、黄色の化合物が生成され、浴槽やタイルなどが黄くみえることがあります。浴槽上支障ありませんが、中性洗剤で洗います。色をよくなることにより、黄色しにくくなります。

浴槽の電熱アダプターをタオルなどで拭かないでください。ふさがると循環不良となり、お風呂の湯かきできません。

機能と特長

お風呂も暖房もお風呂も一台でOKです。  暖房もOK!!	スイッチ、ポンでお風呂の湯かしがで、お風呂が沸きあがるとプザーでお知らせします。(13ページ参照)  スイッチ、ポン	お好きな時刻にお風呂が沸かせる(または沸かし上げておくことができます)。(19ページ参照) ※台所リモコン設置時のみ  OK! 予約設定!
お好みに合わせて「あつめ」(おいだせ)や「ぬるめ」(ぬる湯)、また「たっぷり」(たし湯)のお風呂が楽しめます。(21-24ページ参照)  あつめ、ぬるめ、たっぷり	湯温と湯量の目はりは機器におまかせ。(自動運転時) ※湯量については全自動タイプのみ  自動運転	お湯の断続使用での湯温安定機能(0機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。(当社比)  湯温安定機能
「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!! (27ページ参照)  ゆらぎのシャワー	リモコンにはプザーが付いていますので、お風呂の沸き上がり完了のお知らせや、浴室から台所などへの呼び出しができます。 ※呼び出しプザーは台所リモコン設置時のみ  プザー	リモコンの表示画面で、給湯・お風呂の温度や時刻などが一目で分かります。(時刻は台所リモコン設置時のみ) ※お風呂のお湯の量は浴室リモコンで1段階に設定できます。 (17ページ参照) ※冬期、室温が下がるのを自動的に感知し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。 (30ページ参照)

各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

■浴室リモコン(BC-60)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。また、呼び出しスイッチを押すと台所および増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

呼び出しスイッチ
押すと台所および増設リモコンのブザーが鳴ります。

緊急停止スイッチ
リモコンの緊急停止の切り替えに使用します。

給湯温度スイッチ
給湯温度を決めるのに使います。(25ページ参照)

湯はりスイッチ
湯はり動作を決めるのに使います。(17ページ参照)

ゆらぎのシャワーヘッド
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。(27ページ参照)

表示画面
お湯の温度や運転状態、時刻などを表示します。

ふろ温度スイッチ
おふろの湯はり温度を決めるのに使います。(15ページ参照)

自動スイッチ(前)
おふろを湯かすときに押します。(13ページ参照)

自動スイッチ(後)
おふろのお湯をふやしたいときに使います。(24ページ参照)

ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに使います。(23ページ参照)

湯はりスイッチ
お湯を湯かすときやおふろを湯かすときは「入」(表示画面点灯)にします。

■浴室リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の自動作表示の点灯を確認してください。
点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

表示画面
この表示が点灯中は給湯温度が変更されます。

お湯の温度のめやすを表示
お湯の温度のめやすを表示します。

現在時刻や予約時刻を表示
現在時刻や予約時刻を表示します。(右所リモコン設置時のみ)

機器や使用方法に不具合があったときに点滅
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。

おふろの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示
おふろの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示します。

おふろのお湯を保温中に表示
おふろのお湯を保温中に表示します。

おふろの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示
おふろの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示します。

ゆらぎのシャワーヘッド
この表示が点灯中は給湯温度が変更されます。

お湯を使っているときに点灯
お湯を使っているときに点灯します。

予約運転をしているときに表示
予約運転をしているときに表示します。

風呂またはおふろの湯はり温度が点灯
風呂またはおふろの湯はり温度が点灯しています。

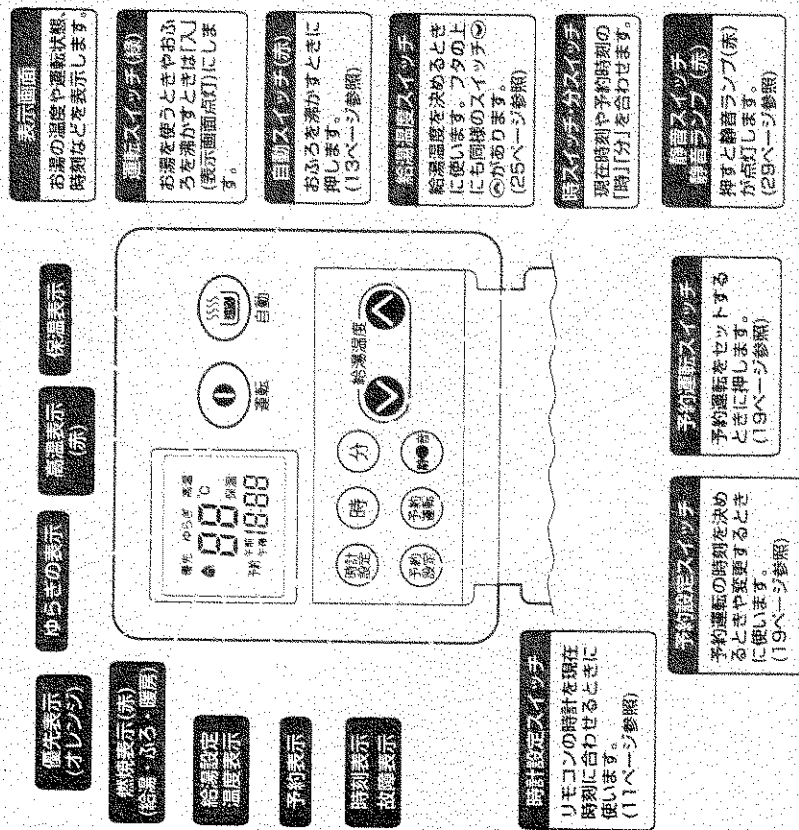
ぬる湯運転中に点灯
ぬる湯運転中に点灯します。

自動・おいたき・たし湯・ぬる湯運転中に点灯
自動・おいたき・たし湯・ぬる湯運転中に点灯します。

各部のなまえとはたらき (台所・増設リモコン)

■台所リモコン(MC-61…静音スイッチ付きタイプ)

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音がします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
- 点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

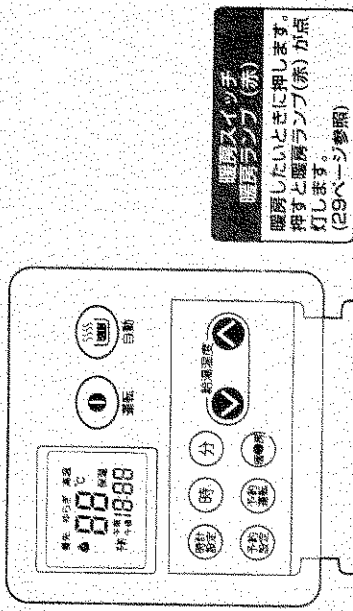


リモコン

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音がお風呂への湯はり完了のお知らせは運転スイッチが「入」のときに給湯運転開始スイッチ(25ページ参照)が同時に3秒以上点灯することによって消すことができます。
- この設定は消去・台所・増設リモコン別々にできます。
- もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

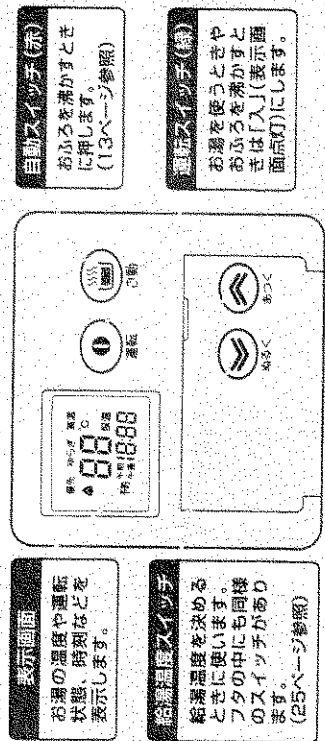
(MC-62…暖房スイッチ付きタイプ)

- 暖房スイッチ以外のなまえとはたらきは、前ページのMC-61と同じです。前ページをご覧ください。



■増設リモコン(SC-60)

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ手もとで給湯温度を変えられます。お風呂を沸かすときもこのリモコンで操作します。
- スイッチを操作した場合は、操作確認音と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



使用方法①

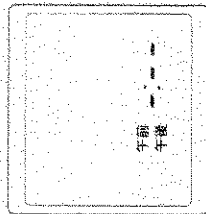
時計を合わせよう

台所リモコンで操作します。

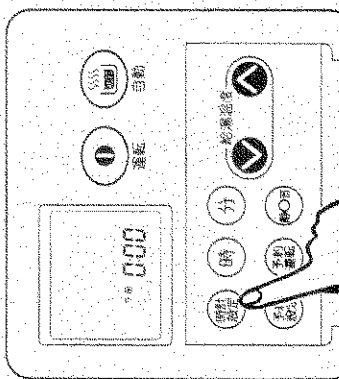
1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



●電源プラグを差し込む（または分電盤の専用スイッチを「入」にする）と、下図の表示が点滅します。



2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。



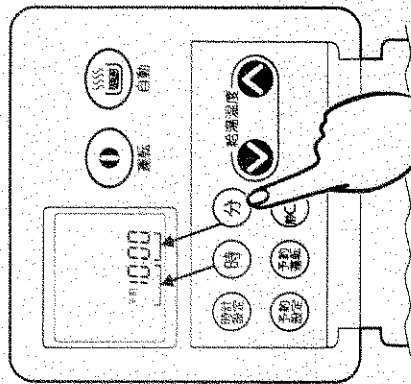
●時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が「00:00」となり点滅します。

- ・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。（予約運転もできません）
- ・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。



●電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には、---の表示に戻ります。
再度時刻を合わせてください。

3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。

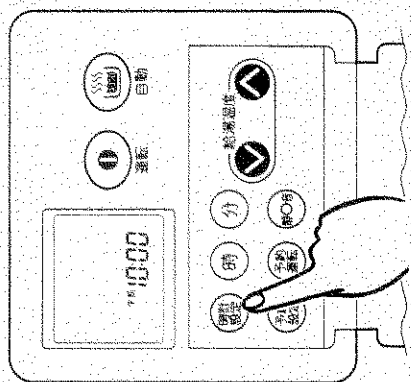


●時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。
※押し続けると、連続的に数字が変わります。
表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



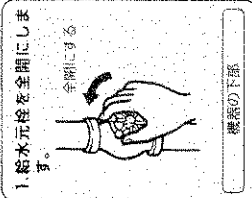
・午前と午後を間違えないようご注意ください。

4 時計設定スイッチを再度押します。



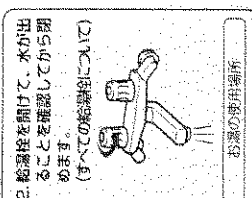
●時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
●台所リモコンで時刻合わせが完了すると同時に、浴室リモコン・増設リモコンにも時刻が表示されます。

はじめてお使いのときは、まず...



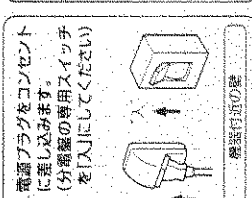
1. 給水元栓を全開にします。
全開にする

給水の下部



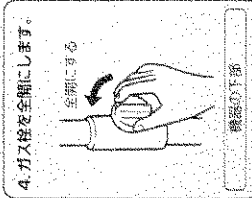
2. 給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから閉めます。
(すべての給湯栓について)

お湯の使用場所



3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

分電盤付近の壁



4. ガス栓を全開にします。
全開にする

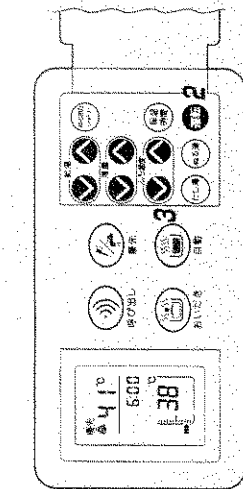
機器の下部

使用方法②

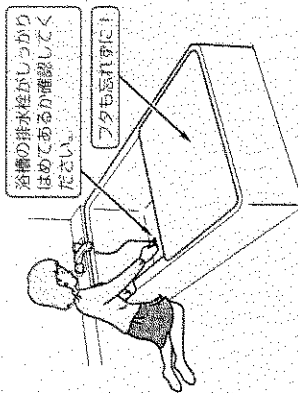
お風呂を自動で沸かします

浴室・台所・増設リモコンの
どれでも操作できます。

お風呂の温度や湯はり量・保温時間の
調節方法は、15～17ページをご覧ください。



1 浴槽に排水栓と フタをします。

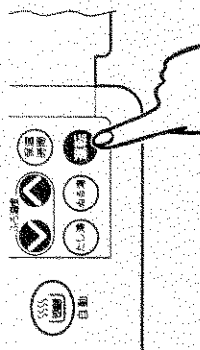


浴槽の排水栓がしっかりと
はめられているか確認してく
ださい。

フタも忘れずには

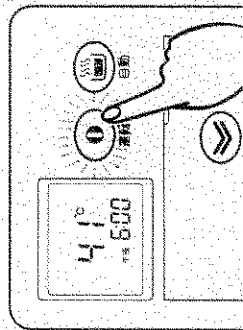
2 運転スイッチ を押します。

浴室リモコンの場合

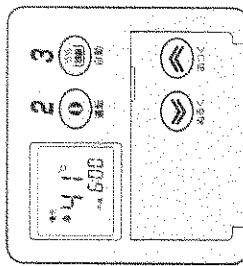


表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯
し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運
転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコンまたは
増設リモコンの場合



・自動湯はり中や、自動たし湯中には、簡易アダプターが
ら泡が出てくる場合があります。
・湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用すると湯はりが
中断され、給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ます。
・お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。
・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチ(赤)が
消灯していることを確認してから行ってください。



・保温の表示が出ている間にぬるく感じるときは、お風呂スイッチ(21ペ
ージ参照)を押すか、ふろ設定温度調節スイッチの(増)を押してふろ設定温度
を上げてください。
・全自動タイプの機種の場合は、保温の表示が出ている間は水位が約4センチ
手下がると自動的にたし湯します。この間にお湯をもっと増やしたいとき
は、たし湯スイッチ(24ページ参照)を押してください。約20リットルの
お湯をたします。

自動湯はりタイプの機種で残り湯がある場合

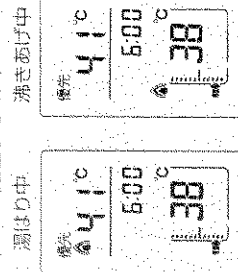
・残り湯で循環金具がかくれない暖房・残り湯の分だけ水位が高くなり、
お湯があふれる場合があります。
・残り湯で循環金具がかくれている場合、水位が多少バラツキます。
※特に残り湯の温度がふろ設定温度に近いときは、約16リットルだけ湯
はりし、設定した量になりません。
・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があ
ふれることがあります。

3 自動スイッチを押します。

(台所リモコン)
(増設リモコン)



(浴室リモコン)



・自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりをはじめます。こ
のと表示画面には右図の表示が出ます。



湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりす
ると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、
他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。

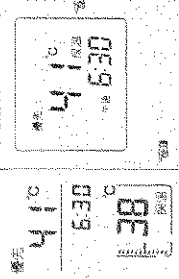
・お風呂が沸きあがるとリモコンのプザーで約5秒間お知らせ
します。また、表示画面には右図のような保温の表
示が出ます。

・保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動
的(注)にたし湯します。全自動タイプはお湯が減ると自動
的にたし湯します。この保温時間は16ページの保温時
間スイッチで決めます。

(注)ふろ設定温度などによって異なりますが、約20～40分ごとに
ふろ温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっているば自
動的にたし湯します。

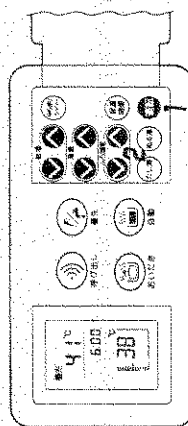
・保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ
(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動ス
イッチ(赤)を押して消灯させてください。

(台所リモコン)
(増設リモコン)



使用方法③ ふろ温度の調節方法

浴室リモコンで操作します。



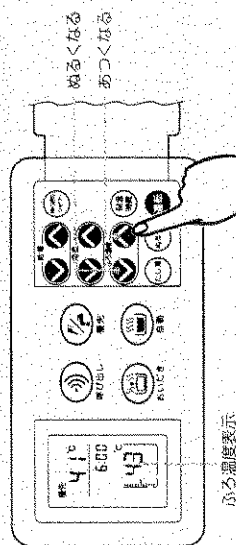
お風呂上げの際には、お風呂の湯きあがり温度を42℃に設定しております。このままでもご利用いただけますが、お好みの温度に整えることができます。

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

運転

2 浴室リモコンのフタの中にあるふろ温度調節スイッチを押します。



ふろ温度表示

- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを一回ずつ押してください。

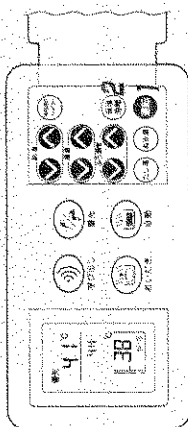
※温度表示はめやすです。



- ★あとは自動スイッチを押すと、設定した温度に沸きあがり、自動的にストップします。

使用方法④ 保温時間の変更方法

浴室リモコンで操作します。



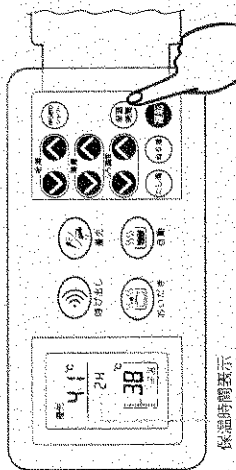
保温時間中は自動的に保温とたし湯を行います。(ただし湯は全自動タイプののみ)

1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

運転

2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。

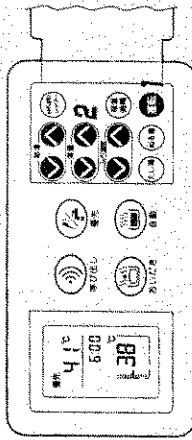


保温時間表示

- 表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4Hとなり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。
- 保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4→2→1→0→8→5→4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。上図は2時間に設定した場合の例です。
- 最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。

使用方法⑤ お風呂のお湯の量(水位)の調節方法

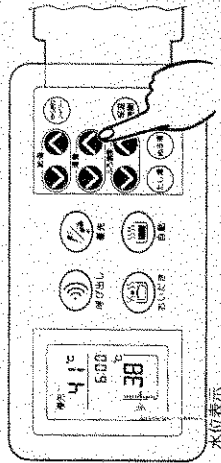
浴室リモコンで操作します。



運転スイッチが「入」のときにフタの中にある湯量調節スイッチを押します。

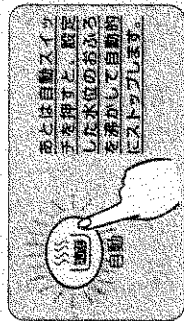
■全自動タイプと自動湯はりタイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになります。

全自動タイプの場合



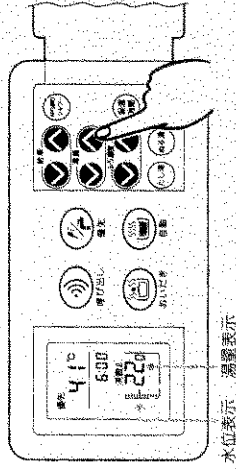
- 全自動タイプでいう湯量(水位)とは、循環金具から何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目(赤い線)になります。この設定の場合、1.5人用浴槽では循環金具から約25cmの位置まで湯はりして自動停止します。

●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛上がり、●を押すたびに1目盛下がります。1目盛で水位が約3cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環金具から約10cm上、最高で約43cm上になります。



あとは自動スイッチを押すと、設定した水位のお湯を湯はりして自動的にストップします。

自動湯はりタイプの場合



水位表示 湯量表示

- 自動湯はりタイプでいう湯量とは、自動スイッチを押したときに浴槽に湯はりするお湯の量をいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目(赤い線)で示されます。

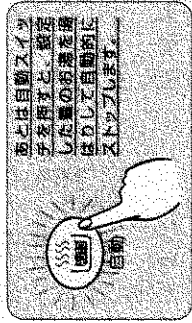
●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにかえていきます。ただし、子供のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには●スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっていきます。また、400および990リットルに設定したとき、水位表示は表示されません。

●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は右表のようにへっていきます。ただし80リットルや60リットルに設定するときには●スイッチを1秒以上押し続けてください。

●湯量調節スイッチを押してから約5秒間は、表示画面のふろ設定温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふろ設定温度表示に戻ります。

湯量表示 (リットル)	水位表示 (下から)
(990) 表示なし	(990) 表示なし
(400) 表示なし	(400) 表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

●を押すとふろ設定-
初回設定-
●を押すとふろ設定



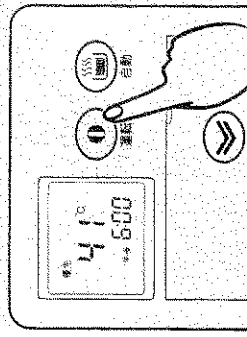
あとは自動スイッチを押すと、設定した量のお湯を湯はりして自動的にストップします。

使用方法⑥

好きな時間にお風呂を沸かす「予約運転」のしかた

台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。

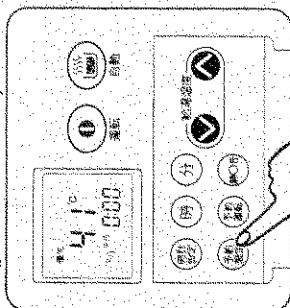


表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻があらわになっていることを確認してください。

予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。毎日同じ時間にお風呂を沸かす（予約時刻を変更しない）場合は、1、5、6の操作だけで結構です。また、予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

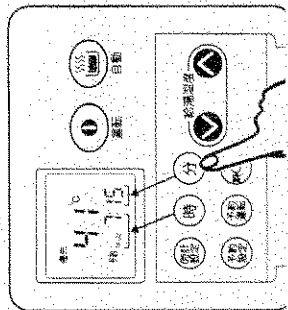
2 台所リモコンのフタの中にある予約設定スイッチを押します。

（続いて約10秒以内に3の操作に移ってください）



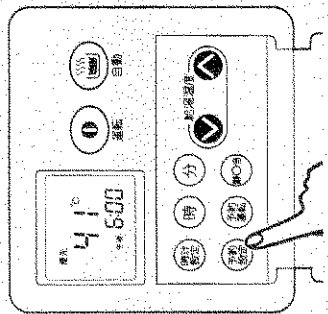
予約設定スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と「0:00」が点滅します。

3 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



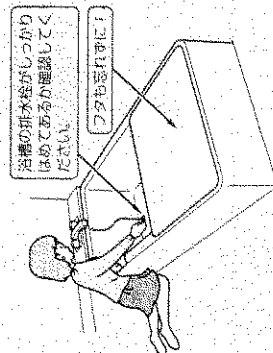
湯はり完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。（午前・午後には注意！）
押し続けると連続的に数字が変わります。
上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

4 再度、予約設定スイッチを押します。



約3秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」の表示も消灯します。
予約設定スイッチを押さなかった場合は、約10秒後に自動的に設定して現在時刻の表示に変わります。

5 浴槽に排水栓とフタをします。



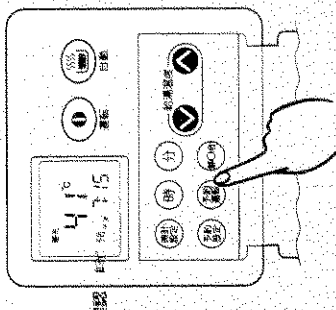
浴槽の排水栓がしっかりと
はめてあるか確認してく
ださい。

フタも忘れずに！

- ・浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- ・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以上に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧力が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂が沸かしが完了しないことがあります。
- ・予約の変更はまず予約運転スイッチを押して予約を解除し、あとは2～6の手順で予約をし直します。
- ・予約運転を中止したいときは、もう一度予約運転スイッチを押してください。
- ・予約の表示が点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされ、予約運転の機能がはたらかなくなります。



6 予約運転スイッチを押します。



表示画面に「予約」の表示と3で決めた時刻が表示され、約3秒後に現在時刻に戻ります。
これで予約ができました。あとは予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯はりをはじめます。

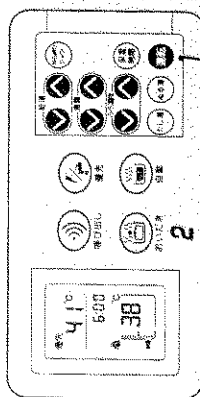
※予約した時刻になると「予約」の表示が消え、約5秒間（ビビットと約5回）ブザーでお知らせします。同時に「保温」の表示が点灯して保温運転に入ります。



使用方法⑦

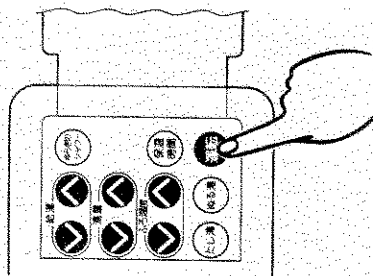
おいだきしたいときは・・・少しあつめにしたいときや昨日の残り湯を沸かしたいとき

浴室リモコンで操作します。



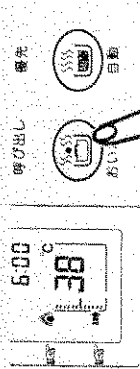
1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



2 浴室リモコンのおいだきスイッチを押します。

浴槽にお湯または水が入っている場合



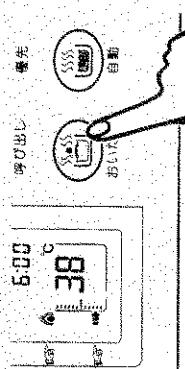
- ※上の「表示」はおいだき運転中の表示です。
- おいだきスイッチが緑色に光り、約6分間おいだきします。途中で止めたいときはもう一度おいだきスイッチを押してください。

おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようご注意ください。



- 浴槽のお湯の温度がふる設定温度よりぬるい場合には、ふる設定温度まで沸きあげます。
- おいだきが終わるとおいだきスイッチ(緑)が消灯します。

浴槽にお湯または水が入っていない場合

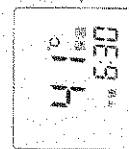


- ※上の「表示」はおいだき運転中の表示です。
- おいだきスイッチが緑色に光り、浴槽に約6リットル沸はります。全自動タイプの機器は、このあと自動運転に切り替わります。

※以下の動きは全自動タイプのみ



- お風呂が沸きあがると、約5秒間ブザーでお知らせし、保温の表示が出て保温運転に入ります。
- (台所リモコン) (浴室リモコン)

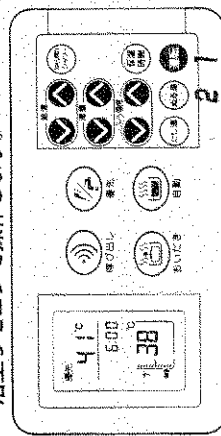


- ※上の「表示」は沸きあがり運転中の表示です。
- 自動運転に切り替わるとおいだきスイッチ(緑)が消灯し、自動スイッチが赤く光ります。途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。

- 保温運転が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ(赤)も消灯します。

使用方法⑧ お風呂をぬるくするには

浴室リモコンで操作します。



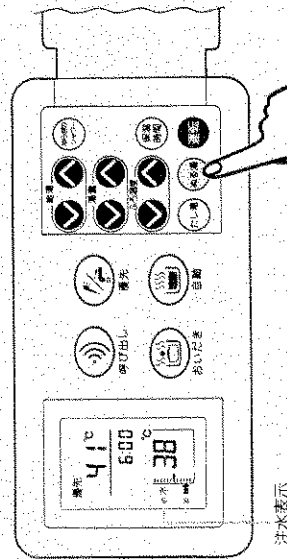
・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(2ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、ふろ運転表示は停止状態になります。このとき給湯機からは水が出ることもあります。
・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることもあります。

1 表示画面の点灯を確かめます。

運転

- ・表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。

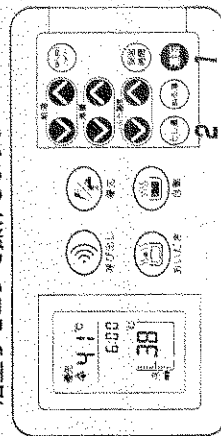


- ・浴槽に約10リットル注水します。(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。注水表示が消えます。
- ・ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

23

使用方法⑨ お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。



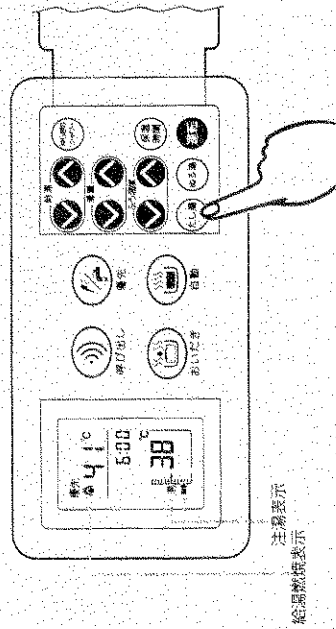
・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(2ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断され、ふろ運転表示は停止状態になります。このとき給湯機からはぬる湯が出ることもあります。
・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることもあります。

1 表示画面の点灯を確かめます。

運転

- ・表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。



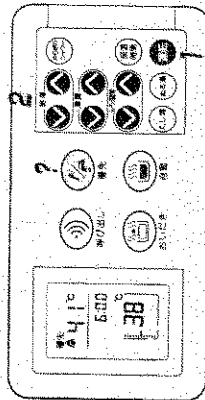
- ・浴槽にふる設定温度(上の例では約38℃)のお湯約20リットルを湯はります。(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・たし湯運転中は上図の注湯表示と給湯機表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。たし湯機表示が消えます。
- ・たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯機表示が消えます。

24

使用方法⑩

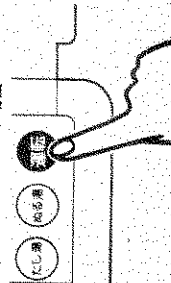
シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

浴室・台所・増設リモコンの
どれでも操作できます。



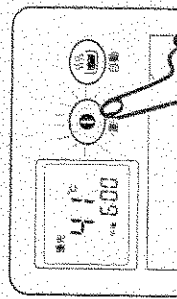
1 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



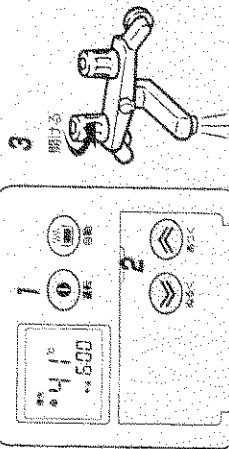
●表示画面に給湯・風呂設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合

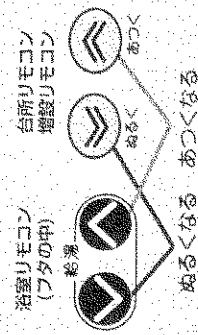


●運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は優先スイッチがオレンジ色に光ります。

●シャワーを使用するときは、浴室リモコンの優先スイッチがオレンジ色に光っていることを確認してください。

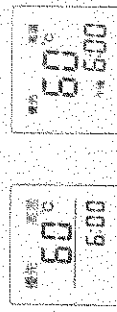


2 給湯温度スイッチで温度を決めます。



●37℃から60℃まで上記の12段階に設定でき、温度は表示画面に表示されます。下図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

浴室リモコン (台所リモコン)

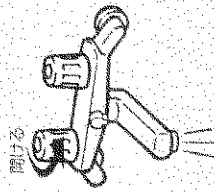


●給湯設定温度が60℃のときは、上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。

△警告

- 高温でお湯を使用している後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



●お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。

浴室リモコン (台所リモコン)



●湯温を絞る(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

? 運転スイッチが「入」になっっているのに給湯温度が調節できない?

●湯温調節が調節できないのは、表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これほやけどなどの事故を防ぐためです。

浴室リモコン (台所リモコン)



●この燃焼表示が切り替わるには浴室リモコンの優先スイッチを押しします。優先スイッチを一回押すたびに、優先表示が浴室リモコン→台所・増設リモコン→浴室リモコンと交互に切り替わります。

浴室リモコン優先のときは優先スイッチがオレンジ色に光ります。

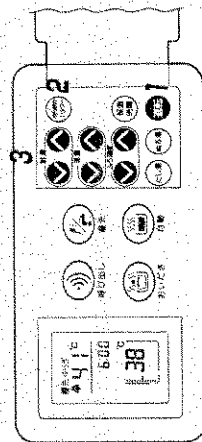


●お風呂(特にシャワー)の使用後は、お湯の温度を42℃に設定してあります。湯温が湯温能力以上の場合は、リモコンの燃焼表示が点灯することがあります。そのとき、湯温を絞ってお使いください。

●給湯温度が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも高い湯温が出る場合があります。

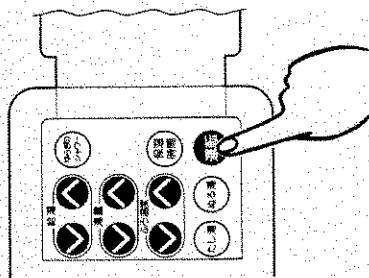
使用方法① ゆらぎのシャワーの使い方

浴室リモコンで操作します。

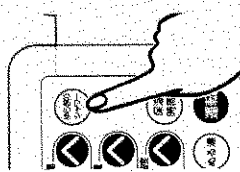


1 表示画面の点灯を確認めます。

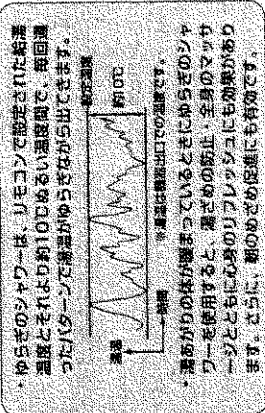
表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある電源スイッチを押します。



2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。



△警告

- 高温で給湯を使用していた後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくすすることがあります。
 - ・妊娠中の方
 - ・医療から入浴を禁じられている方
 - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

△注意

- 給湯温度が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
- なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

3 給湯温度スイッチで4 ゆらぎのシャワーが楽しめます。



ゆるくなる あつくなる

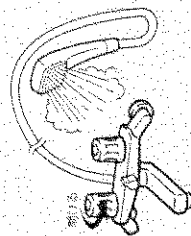
- 設定できる温度は39℃～44℃の段階です。

ゆらぎのシャワー温度
39 40 41 42 43 44

- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃・45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯でお湯を使ったり、ゆらぎのシャワー使用中に湯温が変化する場合があります。

ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が浴室リモコンに移り、給湯設定温度も浴室リモコンに移りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。



- このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。



- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。

使用方法⑫ 暖房の使い方

放熱器や床暖房コントローラで操作します。

△注意

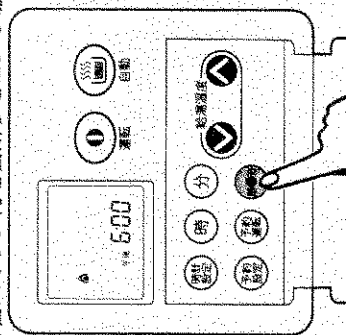
- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
- パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起す心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・ 乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かさない方
 - ・ 疲労の激しいときや酒を飲んだとき
 - ・ 皮膚の弱い方

暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。

(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

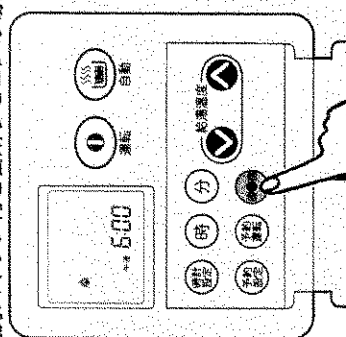
- 暖房運転中は表示画面に暖房燃焼表示(🔥)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ)

■静音スイッチ付き台所リモコンの場合



- 暖房開始時の運転音を下げ、運転します。(このとき、暖房能力は少し低下します)
- 静音運転中は静音スイッチ中央の静音ランプ(赤)が点灯します。
- ※ 静音スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたします。
- ※ 通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが「静音」スイッチを押すことで暖房能力を少し低下させ、運転音を下げることができます。

■暖房スイッチ付き台所リモコンの場合



- 放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」「切」で機器の暖房運転ができません(Eコンタイプの放熱器でない)場合は、台所リモコンのフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから放熱器を操作してください。
- 暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ(赤)が点灯します。
- ※ 暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたします。

冬期の凍結による破損防止について

- 暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

△注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が凍結点(約-15℃以下)になる日や、それ以上の気温でも風の強い日は対策その①では凍結予防ができなくなりますが、このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

暖房の凍結予防について

- 外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- 「※」スノーメーカーがある放熱器は運転つまみをスノーメーカーに合わせてください。
- 不凍液を入れる方法もあります。



対策その①

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- 操作のしかた
 - この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)と自動ポンプ運転装置(ふろ・暖房側)が組み込まれています。
 - 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜いていると作動しませんのでご注意ください。
 - 機器が外気温を感じ、自動的に作動します。このため寒冷時には、「浴槽の残り湯を捨てず、そのまま」にしておいてください。また、水位が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。

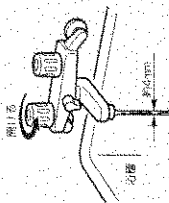
対策その②

給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ・暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その①同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上まで残り湯があることを確認してください。

■操作のしかた

- ① リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ② ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結予防のため)
- ③ お風呂の給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を流しておいてください。
- ※ この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※ ワーモカランやワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。



△注意

- 水量が不安定なことがあります。急のため、30分ぐくぐく流水を流し、再度使用時の設定温度にご確認ください。
- ワーモカランやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。

冬期の凍結による破損防止について

対策その③

水抜きによる方法

●機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないとき、必ずこの「水抜き」を行ってください。

※給湯使用後は給湯器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

給湯側・ふろ側で行います。

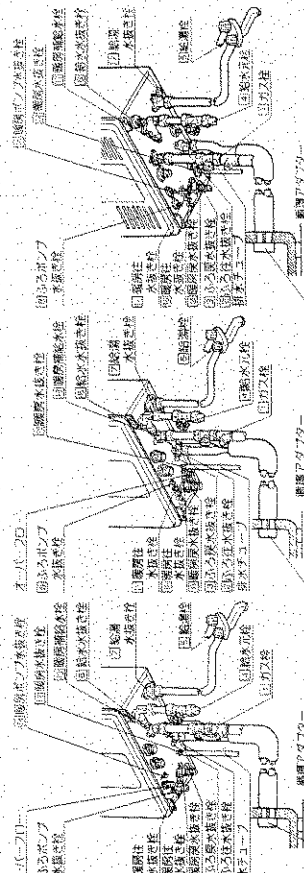
1. 給湯側の水抜き

- ①ガス栓口を閉めてください。
- ②給水元栓口を閉めてください。
- ③給湯栓口をすべて（シャワーなどを除く）開けてください。
- ④給水元栓口を全開にしてください。

HT-248・308シリーズのAWQ、SWQタイプおよび44・445シリーズの場合

HT-248・308シリーズのAWQ・SWQタイプ以外の場合

HT-368シリーズおよび44・270・605シリーズの場合



2. ふろ側の水抜き

- ①ガス栓口を開けてください。
 - ②給水元栓口を開けてあることを確認してください。
 - ③浴槽の水を排水してください。（浴槽の排水栓を抜いてください）
 - ④浴室リモコンのおいだしスイッチを押して（「入」にする）、浴槽の循環アダプターから水（お湯）が出てくることを確認してください。
 - ⑤排水が止まったら再度おいだしスイッチを押して（「切」にする）ください。
- ※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。

（暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください）

- ⑥ふろ往水抜き栓口、ふろ戻水抜き栓口、ふろポンプ水抜き栓口を開けてください。
- ⑦ガス栓口を閉めてください。



- ・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- ・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

暖房側の水抜き

※暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

- ①ガス栓口を閉めてあることを確認してください。
- ②給水元栓口を開けてください。
- ③暖房水抜き栓口を開けてください。
- ④暖房が止まったら、排水シャワーを暖房水抜き栓口、③および暖房ポンプ水抜き栓口（図はHT-248・308シリーズのAWQ・SWQ・AQ・SQタイプ以外）に付けかえて水抜き栓を開けてください。

※リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。
※電源プラグを抜いてください。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）

「水抜き」をした機器を、次に使うときは…

1. 機器給湯側に通水してください。

- ①給湯栓口をすべて（シャワーなどを除く）開けてください。
- ②給水元栓口を開けてください。
- ③給水元栓口を全開にしてください。
- ④給湯栓口を開けて通水を確認した後、給湯栓口を閉めてください。



再度使う場合の「通水」は、給湯側から行ってください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

- ①ふろ往水抜き栓口、ふろ戻水抜き栓口、ポンプ水抜き栓口をすべて開けてください。
- ②暖房水抜き栓口、③、④、暖房ポンプ水抜き栓口（図はHT-248・308シリーズのAWQ・SWQ・AQ・SQタイプ以外）をすべて閉めてください。
- ③電源プラグをコンセントに差し込んでください。（分電盤の専用スイッチを「入」にしてください）
- ④ガス栓口を全開にしてください。
- ⑤リモコンの自動スイッチを押す（「入」にする）と自動的に注水されます。

※表示画面に給湯機故障表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。

⑥もう一度自動スイッチを押す（「切」にする）と、湯はりを中止します。

※通水後初めて暖房、自動、おいだしを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

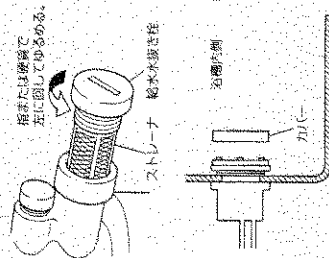
■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
 - 機器の外観に異常は見られますか？
 - 機器のまわり、および排気口・排気トップのそばに燃えやすいものはありますか？
 - 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。
 - 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったりは、すぐに取り替えてください。また、お手入れの際ははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなったりは、新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店でお求めください。
 - ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお問い合わせください。

■お手入れ方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。
- 給水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあつたときはご注意ください。
- 給水元栓を開けてから行ってください。
- 機器の給気口（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まったらそのまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- 循環アダプターのお手入れは、循環アダプターのカバーをはずし、月1回以上掃除してください。カバーは手ではずさず。

リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないように入れてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。



故障！とお考えになる前に

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
故障表示が点滅する	停電していませんか。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはお買い上げのガス会社へご連絡ください。
湯はり時間が長くなる	給水元栓が全開になっていませんか。
「給湯燃焼表示」が点灯しない	断水していませんか。
お湯が出ない	おふろの排水栓はしっかりと閉まっていますか。 (湯はかり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はりが停止します)
高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていませんか。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていませんか。
湯温が変動して安定しない	断水していませんか。
「ふろ燃焼表示」が点灯しない	給湯栓が十分開いていますか。
お風呂の湯が冷たくなる	湯温調節は適切ですか。
お風呂の湯が冷たくなる	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。(27ページ参照)
「ふろ燃焼表示」が点灯しない	運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常なときは故障(水量制御装置)ですので、お買い上げの販売店またはお買い上げのガス会社へご連絡ください。
お風呂の湯が冷たくなる	ガス栓が全開になっていませんか。
お風呂の湯が冷たくなる	浴槽に水が入っていますか。
お風呂の湯が冷たくなる	ガス栓が全開になっていませんか。
お風呂の湯が冷たくなる	お風呂の湯温の設定は適切ですか。(15ページ参照)
お風呂の湯が冷たくなる	湯はり量(水位)の設定は適切ですか。(17ページ参照)
お風呂の湯が冷たくなる	湯はりの残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をした場合、水位が高くなる場合があります。
「風呂燃焼表示」が点灯しない	ガス栓が全開になっていませんか。

こんなときは故障ではありません。

※以上のことをお調べのうえ、なほ異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

63

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の2つのスイッチを同時に1秒以上押し続けてください。



スイッチ2個を同時に1秒間以上押す。
運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」、
通常表示状態で操作)

※電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記憶内容の消去はできません。

2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はより時間が長かったり、低い水位で設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はりが開始されます。

電車中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。

運転中何回か停止しますが異常ではありません。

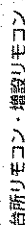


試験運転の終了まで、20～30分かかります。

5. 試験運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

兼仁

●再操作しても故障表示が点滅するときや下図以外の数字が点滅するときは、お買い上げの販売店またはよりのガス会社へ修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



IQ)を提示しているとき、お話を聞くことはできずすが、是非読解力によって十分な結論能力が出ない状態です。気がついたらすくにお買い上げの服を着まわすよりもよりのガス会社にはご連絡ください。

長期間使用しない場合は

4. 電源プラグを抜きます。
(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください。)

1. ガス栓を開めます。
2. 給水元栓を開めます。
3. 機器の水抜きをします。
(31・32ページ参照)
4. 電源プラグを抜きます。
(分電盤の専用スイッチを閉にしてください。)



兼仁

形 名	RUFH-1615AW(SAW)	RUFH-1615AA(SAA)	RUFH-1615AT(SAT)	RUFH-1615AB(SAB)
	RUFH-1615AWK(SAWK)	RUFH-1615AAK(SAAK)	RUFH-1615ATK(SATK)	RUFH-1615ABK(SABK)
品 名	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AQ	HT-248RSA-AQ	HT-248RSA-AQ
	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q
	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q	HT-248RSA-AW.Q
	HT-248RSA-SQ	HT-248RSA-SQ	HT-248RSA-SQ	HT-248RSA-SQ
	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q
	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q	HT-248RSA-SW.Q
	44.445	44.447	44.446	44.448
設 備 方 式	幅480×奥行200(AW.Q、SW.Qタイプおよび44タイプは250)×高さ750			
外 形 寸 法 (mm)	43			
質 量 (kg)	温度設定可変型 (約37℃~約46℃、約50℃、約60℃)			
給 湯	温度設定可変型 (約37℃~約46℃、約50℃、約60℃)			
給 湯 台 所	温度設定可変型 (約37℃~約48℃)			
備 考	2温度型は約80℃および約60℃、1温度型は約80℃			
点 検 方 式	AC100V電線接続方式 (ダイレクト点火)			
燃 料	10kPa (約0.1kg/cm ²)			
材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板/カチオン電鍍塗装			
内 装	ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板			
外 装	樹脂鋼/ステンレス鋼板			
給 水 配 置	20A (R3/4) オネジ			
給 水 配 置 方 式	15A (R1/2) オネジ			
給 水 配 置 方 式	AW.Q、SW.Qの低温注: CHジョイント用換手、左記以外: 20A (G3/4)			
給 水 配 置 方 式	15A (R1/2) オネジ			
電 源	AC100V			
電 源 配 置	DC24V以下			
電 源 配 置 方 式	12			
電 源 配 置 方 式	270/330			
電 源 配 置 方 式	290/350			
電 源 配 置 方 式	148			
電 源 配 置 方 式	VCT (25) 2.0m/VCTまたは3VC1F (25)			
電 源 配 置 方 式	流水検知装置 (水量センサー)			
電 源 配 置 方 式	送風検知装置 (回転数検知方式)			
電 源 配 置 方 式	火検出装置 (フレアロッド方式)			
電 源 配 置 方 式	過熱防止安全装置 (バイミットシステム)			
電 源 配 置 方 式	過熱防止安全装置 (スプリング式)			

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

仕樣

形 式	名 称	RUFH-2005AW(SAW) RUFH-2005AWX(SAWX)	RUFH-2005AA(SAA) RUFH-2005AA(X)(SAA(X))	RUFH-2005AT(SAT) RUFH-2005AT(X)(SATX)	RUFH-2005AB(SAB) RUFH-2005AB(X)(SABX)
品 種	HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SQ
	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ
	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ
	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ
	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
設 置 方 式	幅480×奥行200 (AWQ, SWQタイプは250)×高さ750 屋 外 設 置				
外 形 寸 法 (mm)	43				
重 量 (kg)	温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃) 温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃)				
結 露	温度設定可変型 (約37℃~約48℃) 2温度型は約60℃および約60℃、1温度型は約60℃				
給 湯	AC100V電線接続方式 (タイプA・点A) 10kPa (約0.1kg/cm ²)				
給 水	溶融亜鉛メッキ鋼板 / カチオン電着塗装 ステンレス鋼板 / 溶融亜鉛メッキ鋼板				
給 湯	配管例 / ステンレス鋼板 20A (R3/4) オネジ 20A (R3/4) オネジ				
給 湯	AW.Q, SW.Qの低温注: CH3ジョイント用継手、左記以外: 20A(G3/4) 15A (R1/2) オネジ				
給 湯	AC100V DC24V以下				
給 湯	12 270/330				
給 湯	148 290/350				
給 湯	VCT (2芯) 2.0m/VCTまたはVCTF (2芯)				
給 湯	流水検知装置 (水量センサ) 空焚安全装置 (水位電極)				
給 湯	送風機知装置 (回転検知方式) 凍結防止装置 (電熱ヒーター・ポンプ運転・電熱機加熱)				
給 湯	炎検出装置 (フレイムロッド方式) 漏電安全装置 (漏電検出器)				
給 湯	過熱防止安全装置 (ハイリミットスイッチ: 温度ヒューズ)				
給 湯	過熱防止安全装置 (スプリング式) 防凍部保護装置 (サーージブレーク)				

※仕様は改段のため予告なく変更することがあります。

[illegible]

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

仕様

●RUFH-1615AW(SAW), AA(SAA), AT(SAT), AB(SAB)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス用	52.3(45,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス用	48.7(41,900)	32.6(28,000)	16.3(14,000)
LPガス用	52.3(3,75kg/h)	34.9(2,5kg/h)	17.4(1,25kg/h)

●RUFH-1615AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	52.3(45,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	52.3(45,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)

●RUFH-1615AAX(SAAX), ATX(SATX), ABX(SABX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	51.2(44,000)	34.9(30,000)	17.4(15,000)
LPガス	48.8(42,000)	33.7(29,000)	16.9(14,500)
LPガス	46.5(42,000)	33.7(29,000)	16.9(14,500)

●RUFH-2005AW(SAW)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	61.0(52,500)	43.6(37,500)	17.4(15,000)
LPガス	56.9(48,900)	40.6(34,900)	16.3(14,000)
LPガス	61.0(4,37kg/h)	43.6(3,11kg/h)	17.4(1,25kg/h)

●RUFH-2005AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	58.1(50,000)	41.3(35,500)	17.4(15,000)
LPガス	54.7(47,000)	39.0(33,500)	17.4(15,000)
LPガス	53.5(46,000)	37.2(32,000)	17.4(15,000)

※出湯量は混合水栓を使用した場合の計算値です。

●RUFH-2005AA(SAA), AT(SAT), AB(SAB)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	59.9(51,500)	42.4(36,500)	17.4(15,000)
LPガス	55.9(48,000)	39.5(34,000)	16.3(14,000)
LPガス	58.1(4,17kg/h)	40.7(2,92kg/h)	17.4(1,25kg/h)

●RUFH-2005AAX(SAAX), ATX(SATX), ABX(SABX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	57.0(49,000)	39.5(34,000)	17.4(15,000)
LPガス	55.2(47,500)	38.4(33,000)	17.4(15,000)
LPガス	53.5(46,000)	37.2(32,000)	17.4(15,000)

●RUFH-2405AW(SAW), AA(SAA), AT(SAT), AB(SAB), AU(SAU)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)
LPガス	64.4(55,400)	48.7(41,900)	16.3(14,000)
LPガス	69.2(4,94kg/h)	52.3(3,7kg/h)	17.4(1,25kg/h)

●RUFH-2405AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)
LPガス	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)
LPガス	66.3(57,000)	48.8(42,000)	17.4(15,000)
LPガス	62.2(53,500)	48.8(42,000)	16.9(14,500)

●RUFH-2405AAX(SAAX), ATX(SATX), ABX(SABX), AUX(SAUX)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 kW ()内は kcal/h	25℃上昇 (L/min)	40℃上昇 (L/min)
同時使用	給湯 暖房		
都市ガス	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)
LPガス	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)
LPガス	66.3(57,000)	49.4(42,500)	17.4(15,000)
LPガス	62.2(53,500)	48.8(42,000)	16.9(14,500)

※出湯量は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼されるときは

- P34～37の「故障！とお考えになる前に」の項をご確認ください。それでも治らない場合、あるいはご不明の点については、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・連絡（代表）の印印など
 - (2) 型番（フロンteraバーの縦板に記載してあります。2ページ参照）
 - (3) 現象（表示画面の状態または故障表示など、できるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この機器には保証書が添付されています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。

補修用性能部品・最低保有期間について

- 補修用性能部品（機器維持のために必要な部品）の機能保有期間は製造打ち切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域、または電動扇風機の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要が初まります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 地震などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、またはもよりのガス会社へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては配管や配線が大きく迂回しないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの通風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を避けるなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調査や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へお問い合わせください。
- 別添の「連絡先」一覧表を参照してください。